

支援理念・論理綱領

《支援理念》
1. 知的障害者を中心として、様々な障害を有する利用者が働くことをはじめとする主体的活動を推進する中で、自立した生活をめざす。
2. 全ての利用者にとって、入所したら入りっぱなしというのではなく、可能な限り多面的な社会参加・進路選択をめざす。
3. 施設内活動に止まらず積極的に地域との交流を保障し、利用者個々に応じた職場環境や家庭的生活の実現をめざす。
4. 施設にあづけっぱなし、あずかりっぱなしにするのではなく、施設と家庭・地域との連携・協力を大切に推進する。
5. 地域との交流を積極的に進め、地域に根ざした施設づくりをめざす。
6. 何より利用者の発達の可能性を大切にし、科学的に統一した支援を進めるための自覚的な職員集団を確立する。

《倫理綱領》
前文
施設利用者が人間としての尊厳が守られ豊かな社会生活が送れるよう、支援することが私たちの責務である。そのため、私たちは支援者として、確固たる倫理観念をもって、各々の役割を自覚し、自らの使命を果たすものである。
ここに倫理綱領を定め、私たちの規範とする。

- 1. 生命の尊厳
私たちは、施設利用者の一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にする。
2. 個人の尊重
私たちは、施設利用者の一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊重する。
3. 人権の擁護
私たちは、施設利用者に対する、差別、虐待等いかなる人権侵害も許さず、人としての権利を擁護する。
4. 社会への参加
私たちは、施設利用者の年齢、障害の状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての社会生活を送れるよう支援し、最大限の幸福と便益を提供する。
5. 専門的な支援
私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、知識、技術を高め、最大限の熱意をもってサービスを提供し、一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるよう支援する。
6. 社会的背景と理念
法人設立の理念と社会的背景を常に自覚し、継続的支援に心掛ける。

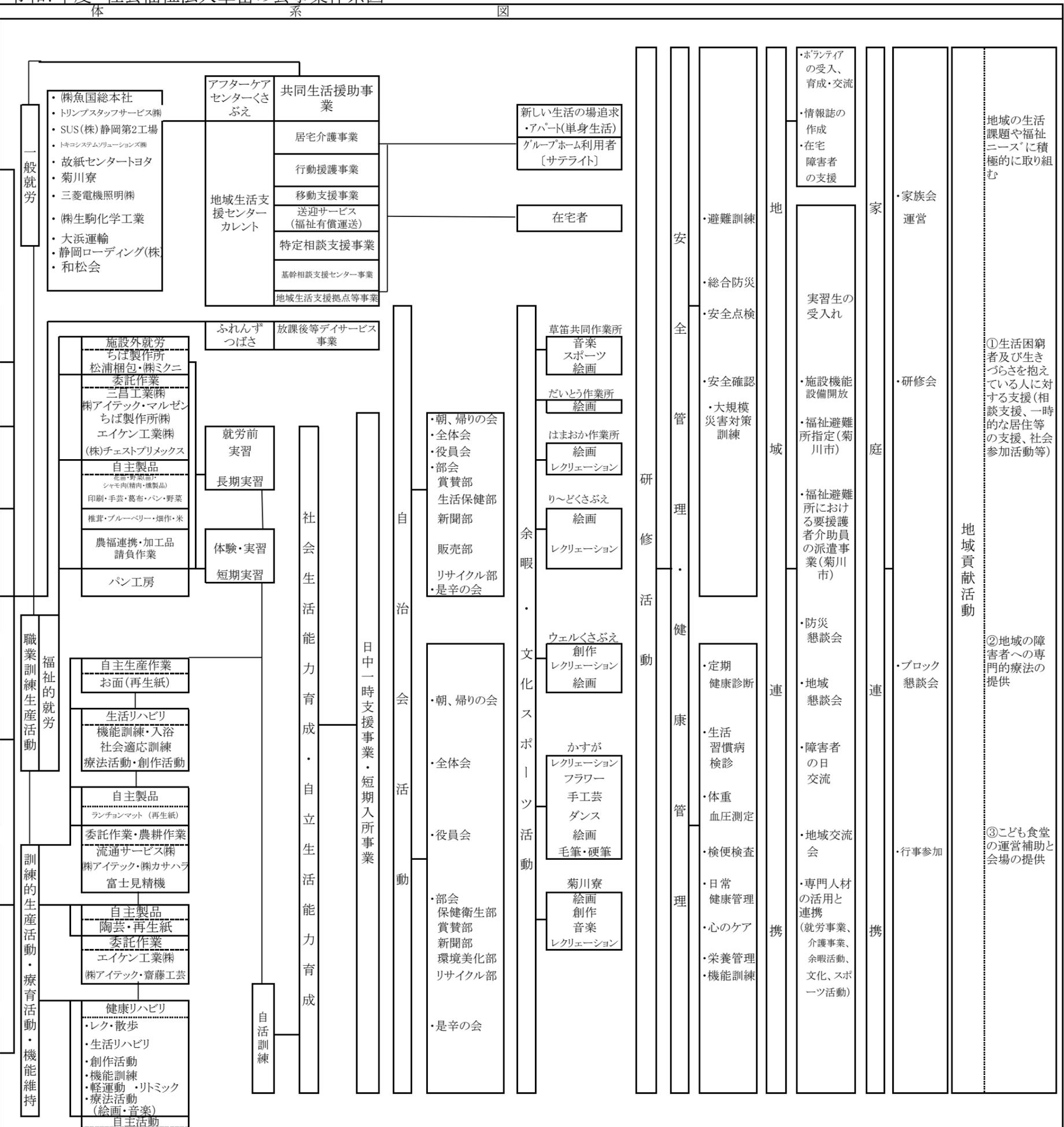
Table with 4 columns: 種別, 名称, 定員, 事業内容. Lists various family-style care facilities like '若草の家' and '春日の家'.

Table with 4 columns: 種別, 名称, 定員, 事業内容. Lists '地域生活支援センターカレント' and 'ふれんずつばさ'.

Table with 4 columns: 種別, 名称, 定員, 事業内容. Lists '草笛共同作業所' and 'はまおか作業所'.

Table with 4 columns: 種別, 名称, 定員, 事業内容. Lists 'ウェルクさぶえ' and 'かすが'.

Table with 4 columns: 種別, 名称, 定員, 事業内容. Lists '菊川寮'.



地域の生活課題や福祉ニーズに積極的に取り組む
①生活困窮者及び生きづらさを抱えている人に対する支援(相談支援、一時的な居住等の支援、社会参加活動等)
②地域の障害者への専門的療法の提供
③子ども食堂の運営補助と会場の提供